

COP 29 JAPAN PAVILION

鬼塚 友章
HESTA大倉
代表取締役社長

高村 ゆかり氏
東京大学
未来ビジョン研究センター教授

太陽光で電力コスト削減 COP29、企業に脱炭素促す

気候変動に対応すべく世界の国・地域がアゼルバイジャンのバクーに集い、地球温暖化対策の国際ルールについて話し合った第29回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP29)。不動産や住宅事業を手掛け、2024年夏には柔軟に曲がるフレキシブル太陽電池を発売するなど脱炭素に向けた取り組みを積極的に進めているHESTA大倉の鬼塚友章社長もCOPの会場を訪問。環境問題に詳しい東京大学未来ビジョン研究センターの高村ゆかり教授と、これからの企業の取り組みについて話し合った。

脱炭素、取り組み加速必要

鬼塚 私は今回のCOP29が初めての参加なのですが、会場で政府や非政府組織(NGO)、少数民族の代表が地球規模で大きな問題に立ち向かおうとする熱気を肌で感じています。

気候変動は異常気象に起因する災害発生のみならず、漁業や農業など日常生活への影響も甚大なものとなっています。一方、こうした人類・地球規模の問題に対処するべく様々なステークホルダーがCOPの会場に集まっているのを見ると、問題解決に向けた希望も感じます。同時に私たち企業としてもしっかりと向き合う必要があると思いますが、高

村先生は気候変動対策についてどうご覧になっていますか。

高村 確かにCOPでの議論の背景には、深刻化する気象災害への対応が必要との認識があります。2015年に合意した温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定の下で、国際社会が、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5度までに抑える目標を目指しているのも気候変動の悪影響への懸念を背景にしています。

たまた1.5度目標の達成は簡単ではありません。最新の科学に基づけば、50年までに温暖化ガス排出を実質ゼロ(カーボンニュートラル)にするだけでなく、まさに今から排出削減の取り組みを相応に加速させることが必要です。米国では25年から再びトランプ政権が立ち上がります。17年からのトランプ政権1期目の経験に照らすと、化石燃料の開発規制や環境規制の緩和・撤廃を行うのではないかと見られています。アメリカ第一主義を重んじる政権の誕生は、気候変動問題だけでなく多数国間の国際協定に多大な影響を与えるおそれがあります。ただ、自治体・州・民間企業、金融機関など非国家主体が気候変動対策を先導し、連携する動きが広がっており、特に企業や金融機関は自らの経営課題として気候変動対策に動いている点が1期目とは異なります。COPでも民間の取り組みに注目が集まっています。

軽く、薄く、曲がるパネル

鬼塚 化石燃料が地球に大きな負荷を与えている現状、太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用は欠かせないと考えています。そのうち都市部で利用できる現実的な可能性があるのは太陽光です。

3倍まで増やす必要があります。世界的に化石燃料価格が高止まりしている現状は再生エネルギーにとって追い風でもあります。日本でも太陽光の発電コストが下がっており、自家消費型の太陽

光の導入は電力料金の支払いを抑えられるというメリットがあります。加えて災害に対するレジリエンス(強じん性)という点でも重要です。太陽光などの再生エネルギーを導入して、災害などで送電線が切れ、でも生活に必要な電力を確保できれば、気候変動対策としてだけでなく、企業や家庭にとって二重にも三重にも価値のある取り組みだと思います。

再エネの重要性は不変

私たちは60年以上続いた住宅不動産関連企業で、安心安全快適な居住空間の提供が企業理念です。以前、旧来型のガラスパネルを個人住宅に販売したことがありましたが、建物の耐震構造とパネルの荷重の大きさとの関係から設置できない住宅があることに大きな問題意識を持ちました。そこで24年夏から新しいタイプの太陽光パネルとして、オリジナルのフレキシブル太陽電池「HESTAソーラー」を発売しました。従来の太陽電池と比べてとにかく軽量で、厚さはわずか3.3mm。柔軟に曲げられるのが特徴です。建物に重さの負担をかけないため、今まで太陽光パネルを設置できなかった木造建築でも簡単に施工できるようになります。曲がる太陽電池としては鉛とヨウ素を原料として使うペロブスカイト型の開発が進んでいますが、一般に普及するには年数がかかりそうです。気候変動は「今そこにある危機」であり、私たちのHESTAソーラーのように現在使用できる技術での対応には意味があります。

鬼塚 HESTAソーラーは搭載できる場所、発電できる場所が飛躍的に増えるというメリットを持っています。レジリエンス向上という意味では、避難施設としてよく使われるものの荷重に余裕のない小学校の体育館屋上などにも設置が検討できます。今使っているパネルの上に貼れば、廃棄を減らすことも可能です。実際、一般家庭や自治体からも多くの問い合わせをもらっています。

性能を持つ住宅は住む人の健康と快適さを増進するという一調査結果があります。太陽光発電と蓄電池などを導入する場合は、追加融資分の金利をゼロにするローンや、追加する金融機関も出てきています。国は30年までに新築戸建ての6割に太陽光発電設備を設置する目標を掲げていますが、軽量で曲がる太陽電池といった技術はその目標達成にも貢献できそうです。カーポートの屋根などを空いているスペースを活用できる点も重要です。日本は1次エネルギーの8割超、電力の7割超を輸入化石燃料に依存しており、国外で何か起きると供給不安や電気料金の値上がりなどのリスクにさらされます。再エネが持つポテンシャルを最大限生かし、皆で工夫して導入を拡大していくことは日本のエネルギー安全保障にも貢献します。

高村 そこは大事な点で、気温上昇を1.5度以内に抑えるには足元から徐々に温暖化ガスの排出をできる限り削減しなければなりません。国際エネルギー機関(IEA)の分析では、30年までに再エネの設備容量を20年に比べ、世界全体で

高村 住宅不動産関連企業として安心安全快適な居住空間の提供を企業理念とされてきたと思いますが、高い省エネ

鬼塚 そうやって発電できることが増えていけば日本が気候変動対策に大きく貢献できますね。個人として脱炭素の取り組みに参画する意識を持つことが、他の取り組みと合わせて相乗効果を生むのではと期待しています。

選ばれてます! 次世代太陽光パネル HESTAソーラー

薄くて曲がる!湾曲カーポートにも



今お使いのソーラーパネルにも※1貼れるから廃棄を減らせます。

※1 貼り付けには諸条件があります



薄くて曲がるので、湾曲カーポート屋根にも問題なく設置できます。住宅の壁面や、物流倉庫の屋根上にも設置する予定です。施工のしやすさも高く評価されています。

曲がる!軽い!薄い!

重さ3.3kg
(1㎡当たり)
最大80%軽量化※
厚さわずか3mm
ビス固定不要

※一般的な太陽光パネル(1㎡当たり約11~16.9kg)と比較

安心の3つの保証
出力保証 25年
メーカー製品保証 12年
施工保証 20年

創業から60年余、住宅建設の実績を積んできた当社の自社商品だからこそできる保証です!
※HESTAソーラーの3つの保証には条件があります。諸条件についてはお問合せください。

HESTAソーラーの詳細
ウェブサイトからのお問い合わせは

お問い合わせはこちら! フリーダイヤル (平日9時~18時) 0120-13-6058



ヘスタソーラー で 検索



レストランを展開する株式会社ひらまつと提携し、顧客サービスの向上に努めています。



大倉が展開するHESTAスマートホームは、ミキハウス子育て総研から子育てを応援するスマートホームプランとして認定されています。



「HESTAスマートミラー」は、一般社団法人日本子育て支援協会が主催する第5回「日本子育て支援大賞2024」を受賞しました。